

2022年度 医療的ケア児（重心児）の支援者向け研修会 開催のお知らせ

今年度も支援者向け研修会を開催いたします。基本的には講義をWEBで視聴していただきますが、研修会の目的の1つでもある「顔の見える関係づくり」の為、グループワークを企画しています。過去に参加した方も申し込み可能です。是非多くの方の参加をお待ちしております。



対象

医療的ケア児（重心児）を支援している看護職・リハビリ職・介護職（相談支援専門員含む）・保育職（児童発達支援員含む）など

内容及び 参加方法

- 講義動画を視聴（11月下旬～2月中旬に配信）
- 災害対策をテーマにしたグループワーク（2月集合研修：県内優先）
- 小児リハビリプログラム（3月WEB参加型）：パソコンやタブレットでの参加が望ましい

申込

申し込みは下記のQRコードもしくはURL
<https://forms.gle/uxHihabD12XYuEzH9>
締め切り：2022年11月14日



* 申込フォームに書かれたメールアドレスに、事務連絡および、災害対策と小児リハビリプログラムの申込案内を送ります。携帯キャリア以外のメールアドレスでお申し込みください。

* 1本目に配信する動画はテストも兼ねてます、必ず視聴し、視聴後アンケートをご記入ください。アンケート記入がない場合はご連絡いたします。

【注意点】

- ① 同じ職場から同じデバイスで視聴する予定でも個人でお申し込みください。
- ② 11月中旬頃、申込された方に一斉メールをいたします。ただしスマホおよび「@city」のアドレスでは事務局からのメールを受け取れない事があります。
11月21日（月）を過ぎても事務局からメールがない場合は、ご一報ください。
- ③ 動画の録画・スクリーンショット保存及び講義資料の転載は固く禁じます。
- ④ スマホで視聴される方は講義の文字が小さくて見えにくい場合があります。ボリュームはお使いのデバイスで調整してください。聞き取りにくい場合はイヤホンを使うと改善することがあります。
- ⑤ 埼玉県へ事業報告として、参加職種一覧や写真を報告書に掲載いたします。
- ⑥ 医療用語はわかりやすく言い換えをしていません。調べながらご視聴ください。
- ⑦ 講師への質問は視聴後アンケートにお書き下さい。

研修会担当
埼玉医科大学総合医療センター 小児診療看護師 小泉恵子
問い合わせ先：pedzaitaku+2022@gmail.com
049-228-3550（小児科医局事務室）

2022年度 医療的ケア児（重心児）の在宅支援者向け研修会 プログラム（予定）

1. 視聴（1講義30分～60分）

11月下旬から順次クラウドに挙げていく。好きな時間に分割しながら視聴可能。

テーマ	講師
小児在宅医療の現状	埼玉医科大学総合医療センター小児科教授 森脇浩一
身障者手帳、療育手帳と小児慢性特定疾病	埼玉医科大学総合医療センター小児科医師 奈倉道明
けいれん、てんかん	埼玉医科大学総合医療センター小児科医師 奈倉道明
重症心身障害児・者について～成長に伴う変化、在宅における呼吸や栄養管理の工夫・注意点～	医療法人財団はるたか会あおぞら診療所ほっこり仙台院長 田中総一郎
経管栄養の基礎知識、食事の考え方	北九州市立総合療育センター西部分所所長 奈須康子
摂食嚥下のケア	埼玉福祉保育医療専門学校言語聴覚士科 言語聴覚士 室田由美子
胃瘻について	埼玉医科大学総合医療センター小児外科医師 小高明雄
気管切開について	埼玉医科大学総合医療センター耳鼻科医師 二藤隆春
クイズで学ぶ感染症予防	埼玉医科大学総合医療センター小児科医師 是松聖悟
医療的ケア児（重心児）への遊び支援	NPO法人難病の子ども支援全国ネットワーク 理事 荻須洋子
医療型障害児入所施設における日常生活援助と工夫（多職種連携含む）	埼玉医大福祉会カルガモの家 保育士 梅津江美、藤生真理
NPO法人mamacareの活動と支援者へのお願い	NPO法人mamacare代表 藤川友子
小児リハビリプログラム （運動発達・姿勢とポジショニング・補装具と日常生活用具・OTの取り組み・実技動画）	埼玉医科大学総合医療センター理学療法士 守岡義紀 医療財団法人はるたか会理学療法士 長島史明 埼玉医大福祉会カルガモの家 理学療法士 菅沼雄一 東大宮訪問看護ステーション作業療法士 星野暢
医療的ケア事業と保育について	いちご南保育園
訪問歯科診療を知ろう！（仮）	望月歯科医院 医院長 望月司
薬剤師による在宅訪問サービスを知ろう！（仮）	たから薬局上福岡店 管理薬剤師
心疾患について（仮）	埼玉医科大学総合医療センター小児循環器医師 石戸博隆
人工呼吸器について（仮）	埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学技士

2. 医療的ケア児（重心児）の災害対策を考える（集合研修）：2月に予定

内容：講義、HUG（避難所運営ゲーム）、
各事業所で行っている災害対策の共有と検討

場所：埼玉医科大学総合医療センター

定員：30名（埼玉県内在住在勤者優先）、締切後に人数調整することあり。

方法：講義・グループワーク

3. 小児リハビリプログラム：3月に予定

*2及び3の申し込みは11月以降にメールで連絡をする